

おんしやく No. 202
令和3年11月

議会だより

CONTENTS

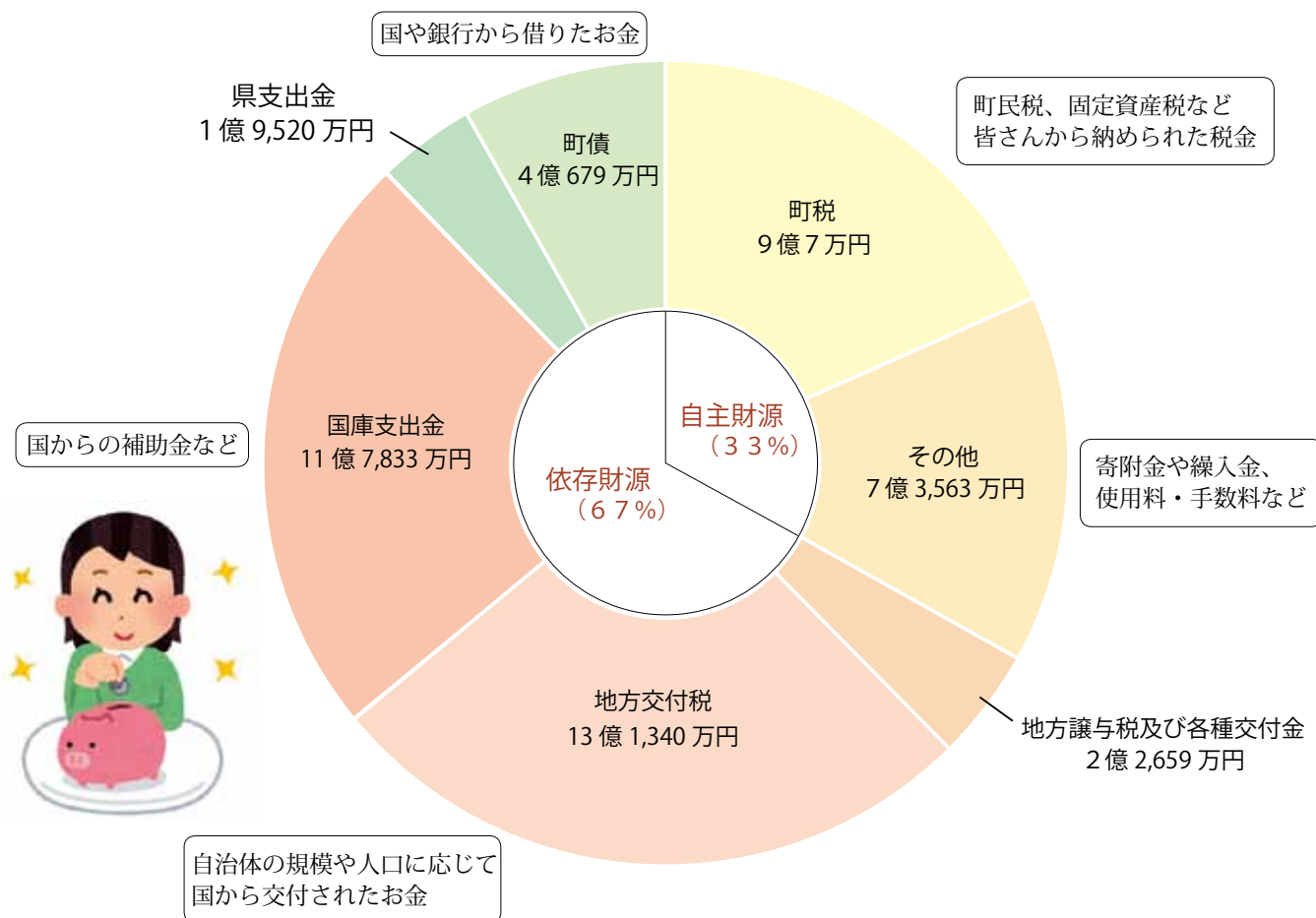
令和2年度決算を認定 どのくらい? 『町』の家計簿	2
令和3年第3回定例会 一般質問・ 常任委員会、議会運営委員会委員を選任	8
提出議案と審議結果	12
議会議員活動情報	15
昔の表紙から振り返る 「過去」と「今」 第3弾	16

どのくらい？

『町』の家計簿

令和2年度決算を認定

歳入 **49億5,601万円**



■ 町債(借金) と 基金(貯金) の状況

令和3年4月1日時点 人口7,243人

町債
(借金)

35億1,221万円

町民1人あたり 約**48万円**

基金
(貯金)

8億1,263万円

町民1人あたり 約**11万円**

※決算額及び構成費、各計数は表示単位未満を四捨五入したものです。そのため、積み上げ合計が一致しない場合があります。

町の予算・決算の状況は
ホームページで公開されています。

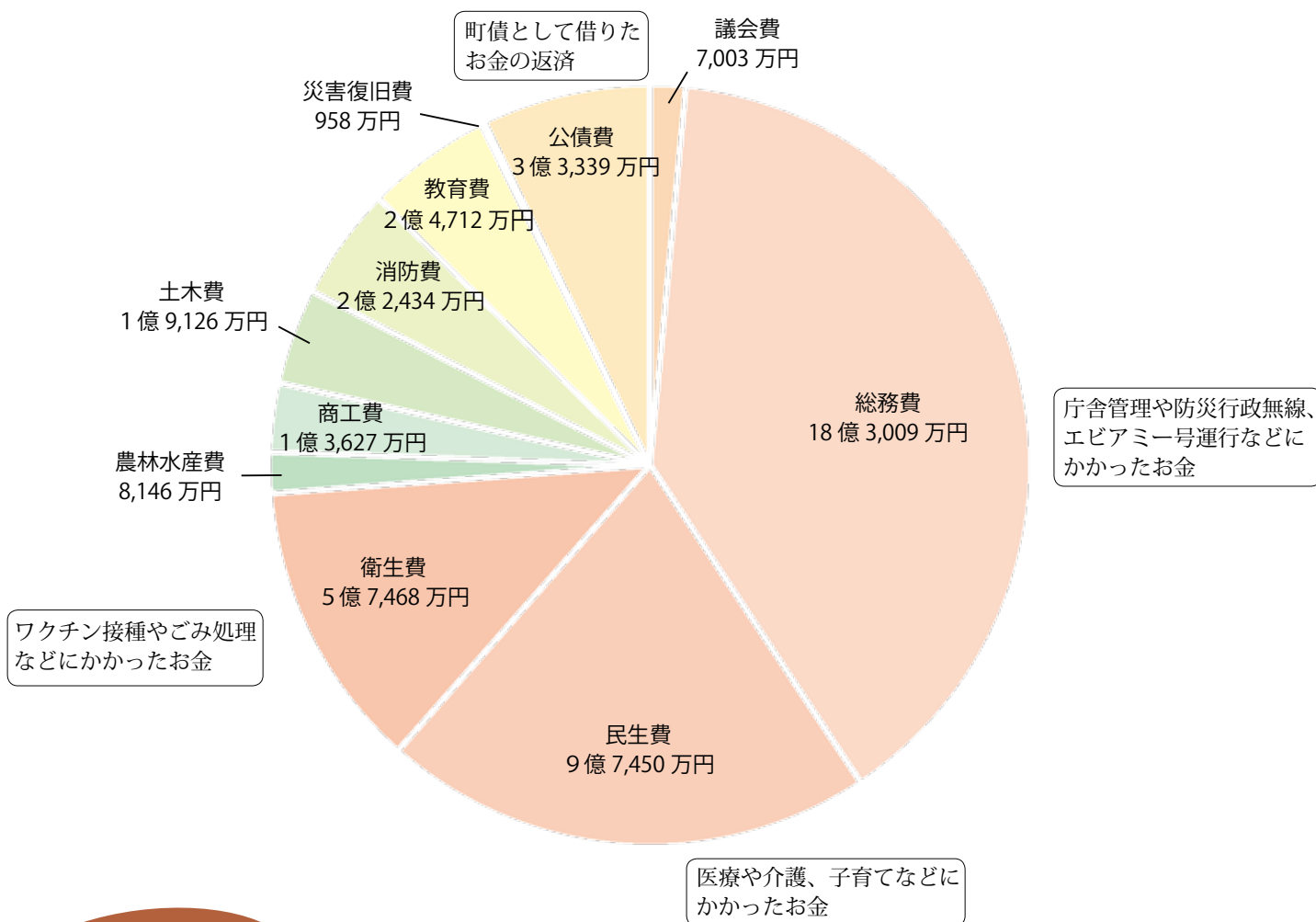


令和2年度決算について町の予算が適正・効率的に使われたか慎重に審議し、全ての会計決算を認定しました。

新型コロナウイルス感染症対策として様々な施策を実施したことにより、平成4年度以降2番目に大きい決算規模になりました。

今回の特集は、昨年度に引き続き、町の財政状況を示した決算内容をお伝えします。

歳出 46億7,270万円



一般会計 監査委員意見

●歳入：前年度と比べ決算額が26.9%増と大きく押し上げた要因は、コロナ禍により地方交付税や国庫支出金の特別定額給付金等が増加したことが影響しています。通常時は決算規模が30億円から40億円程度と思われそうですが、49億円と大きな決算額となっています。また、**税負担の公平性を保ちながら納税意欲の衰退を防ぐよう、不納欠損については慎重に努めてください。**

●歳出：前年度と比べ不用額が15.7%増となっています。コロナ禍の影響により各種事業を自粛したことが考えられますが、**効率的な執行に努めてください。**決算や事業成果を分析し、課題や事業費のあり方など常に見直しながら改善を意識した行政運営が重要です。**住民のニーズを把握し有効な施策を進めてください。**

決算から見る『町』の

COST 費用と効果 EFFECT

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止や縮小などをせざるを得ませんでした。

その中でも町民の皆さんから集められたお金がどんな事業にいくら使われ、どんな効果があったのか。その「費用」と「効果」を紹介します。

COST
2億 2,124 万円
町民1人あたり約3万円

※いすみ市負担分を引いて計算

- ・清掃センターの補修工事 7,079 万円
特定財源 公共施設維持管理基金 2,250 万円
いすみ市負担金 4,236 万円
- ・清掃センターの運営費 2億 5,501 万円
特定財源 いすみ市負担金 1億 5,458 万円
ごみ袋の売り上げ金 224 万円
ごみ収集手数料等 2,167 万円
鉄等の有価物売払料金 238 万円
- ・ミヤコタナゴ生息地の環境整備 428 万円
特定財源 活力あるふるさとづくり基金 427 万円



EFFECT きれいな環境の維持

清掃センターでは、御宿町といすみ市（旧大原町）から出されるごみの処理を行っており、ごみの焼却をするためには施設の点検、補修は欠かせません。

そのため老朽化が進む清掃センターの施設補修工事を毎年度行っています。

また、国の天然記念物であるミヤコタナゴの保護と増殖を図るため、生息地周辺の草刈りや土砂の流出が進む水路整備など、生息地の環境保全にミヤコタナゴ保存会と協働で取り組みました。



▲清掃センター

COST

1億7,215万円

町民1人あたり約2万4千円

- ・町が管理する道路や側溝の補修 **7,387万円**
 - 特定財源 県支出金 27万円
 - 手数料 10万円
 - 地方債 2,063万円
 - 公共施設維持管理基金 3,165万円
- ・トンネル補修設計業務委託 **372万円**
 - 特定財源 地方債 140万円
 - 国県支出金 198万円
- ・天神橋補修工事 **5,698万円**
 - 特定財源 地方債 2,250万円
 - 国県支出金 3,197万円
- ・道路清掃委託 **625万円**



▲小納戸トンネル（岩和田地先）

EFFECT

道路の補修・修繕



老朽化した道路や道路脇の側溝などの補修・修繕は、各区からの要望を踏まえ計画的に行われています。

生活関連道路の維持補修工事をはじめ、河川の維持や整備が行われました。

令和2年度の主な取り組みとして、天神橋（高山田地先）の補修工事の継続実施や小納戸トンネル（岩和田地先）の補修設計が行われました。

COST

水道事業

4億170万円

水1m³を作るのに388円

- ・採取した水をろ過するための施設の更新 **1,970万円**
- ・水質を維持するための薬品と水質の検査費用 **742万円**
- ・家庭にある水道メーターの定期的な交換 **174万円**
- ・5月請求分の水道料金 軽減額 **3,107万円**

※新型コロナウイルス感染症に対する経済支援

※水道事業は税別で記載

水道事業 監査委員意見

水道事業の効率化を図るため、夷隅郡市、安房郡市における水道事業の統合・広域化が令和7年度目標として検討が進められています。人口減少など様々な問題がありますが、統合によって効率的な運営を行うことにより、水道加入者の負担軽減になるよう検討を進めてください。



EFFECT

安全・安心な水道水の供給

家庭に安全・安心な飲み水を供給するため、老朽化した水道管の交換や、ろ過機や変圧電気設備等の浄水施設修繕等が計画的に行われています。

COST

2億 1,226 万円

町民 1 人あたり約 3 万円

- ・有害鳥獣対策 883 万円
 - 特定財源 国県支出金 528 万円
 - 活力あるふるさとづくり基金 200 万円
- ・中山間地域総合整備事業 1,054 万円
 - 特定財源 地方債 630 万円
 - 分担金 351 万円
- ・感染症蔓延防止協力金 1,196 万円
 - 特定財源 国県支出金 1,196 万円
- ・プレミアム付商品券 2,475 万円
 - 特定財源 国県支出金 2,475 万円



EFFECT

産業の振興

農業については、農業生産の基盤づくりとして実谷・七本地区における中山間地域総合整備事業が行われました。また、イノシシ等の農作物被害の防止対策として、農地への電気柵設置への補助を行い、地域で取り組む獣害対策事業を新たに創設しました。漁業については、アワビの種苗放流のほか伊勢えびやサザエの放流を行い、漁業協同組合と連携しつくり育てる漁業を推進しました。

商工・観光については、新型コロナウイルス感染症の影響により様々なイベント等が中止となりましたが、プレミアム付商品券事業や感染症蔓延防止協力金など、地域経済の活性化対策に取り組みました。



COST

各会計 歳出決算額

- 国民健康保険 10 億 5,544 万円
- 後期高齢者医療保険 1 億 6,215 万円
- 介護保険 10 億 3,123 万円

EFFECT

国民健康保険など各種保険事業の運営

それぞれの制度に基づき、医療費の給付や、健康保持増進と健康寿命の延伸を目的とした健康診断等の事業が行われています。

保険事業 監査委員意見

- 国民健康保険特別会計：被保険者が年々減少傾向にあり、コロナ禍にあることから診療控えがうかがえ、給付費が減少し不用額が増となっています。また、税負担の公平性や財政基盤の安定化を図るため、引き続き徴収率の向上に努めてください。
- 後期高齢者医療特別会計：令和 4 年から一定所得以上ある方の医療費の一部負担割合が 2 割に引き上げられるため、住民に丁寧な説明が必要です。今後も利用者に寄り添った運営をしてください。
- 介護保険特別会計：保険料を適正に見積り、不用額を見極めながら基金への積み立てを行うなど被保険者の負担軽減に努めてください。

COST
4億6,703万円
 町民1人あたり約6万4千円



EFFECT
安全・安心なまちづくり

- ・防災行政無線デジタル化整備
 2億2,119万円
 特定財源 地方債 2億2,110万円
- ・町消防団 分団詰所の解体工事
 2,100万円
 特定財源 地方債 1,940万円
- ・広域常備消防運営費等負担金
 1億8,327万円
- ・町消防団の運営費等 1,915万円

町消防団の統合における体制整備のため、第2分団旧新町詰所の解体工事とともに第1分団（高山田・久保）詰所建設における解体工事を行いました。防災施設の適正管理に努め、地域防災力の強化を推進しています。
 また、防災行政無線デジタル化の最終年度として事業を完了しました。



▲戸別受信機

COST
9,498万円
 町民1人あたり約1万3千円

- ・野球場整備工事 325万円
- ・B&G海洋センター補修工事 770万円
 特定財源 海洋センター修繕助成金 440万円
 公共施設維持管理基金 300万円
- ・公共施設等長寿命化計画策定業務委託 484万円



EFFECT
みんなが集う場
公民館 B&G海洋センター

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年公民館やB&G海洋センターで行われている行事などが中止となりました。
 施設の老朽化対策として、B&G海洋センターの補修工事や野球場の整備工事が行われました。

その他事業

- ・特別定額給付金給付事業 7億3,796万円
- ・子ども医療費（高校生まで）補助等 1,076万円
 特定財源 国県支出金 363万円
 活力あるふるさとづくり基金 638万円

- ・地域公共交通「エビアミー号」運行 1,032万円
 特定財源 その他諸収入 118万円 ※料金1回300円
 活力あるふるさとづくり基金 400万円
 地域公共交通補助金 326万円

／利用者1人あたり約2万1千円

※令和2年4月1日時点
 子ども医療費補助等利用者数 513人

／利用者1人あたり約3千円

※令和2年度エビアミー号利用者数 4,072人

令和3年第3回定例会 一般質問

9月15日 日程第1号 3名の議員が一般質問を行いました。

質問 順番	質問事項	質問議員
1	1. コロナ禍における町独自の施策について	貝塚 嘉軼
2	1. 町長の政策と協議会、事業の優先順位の公表について 2. 公共施設の多目的利用について 3. 全町公園化推進事業の進捗状況について	田中 とよ子
3	1. 水害対策について 2. 埋め立てについて 3. コロナの影響について 4. コロナの患者について	岡本 光代

詳細👉 P9～11 ※質疑応答の一部を掲載

常任委員会、議会運営委員会の委員が選任されました

2年間の任期の終了により、新しい委員が選任されました。引き続き、議会に提出された議案等を分野別に調査・検討を行っていきます。

◇総務委員会（定数8名）

（◎は委員長、○は副委員長）

◎堀川 賢治 ○田中 とよ子
玉井 茂夫 高橋 金幹 北村 昭彦 藤井 利一 立野 暁広

◇産業建設委員会（定数8名）

◎高橋 金幹 ○藤井 利一
貝塚 嘉軼 伊藤 博明 滝口 一浩 堀川 賢治 岡本 光代

◇教育民生委員会（定数8名）

◎北村 昭彦 ○岡本 光代
貝塚 嘉軼 伊藤 博明 玉井 茂夫 滝口 一浩 田中 とよ子 立野 暁広

◇議会運営委員会（定数5名）

◎貝塚 嘉軼 ○滝口 一浩
堀川 賢治 高橋 金幹 北村 昭彦

貝塚嘉軼 議員



コロナ禍において
町経済を立て直し活性化させるべき

町長— 町づくりの基盤となる整備を行っていく

Q 昨年の9月議会において、コロナ禍における観光対策について一般質問を行いました。その後1年が経過しましたが、この間もいくつかの変異型ウイルスが流行し、現在も厳しい状況下に置かれています。

このように先が見通せない状況にありますが、町経済を立て直し活性化させるために町独自に考えている施策はありますか。また、基幹産業である観光業の立て直しをどのように考えているのかを伺います。

A 町経済を立て直すための柱となる短期中期的施策について申し上げます。

地域経済は、国をはじめ町内外との連動性によって成り立ち、それゆえに国の経済対策の動向は、直接、地域経済の動向に反映されていきます。国においてコロナ禍で大きな経済政策が打たれようとしています。私はこのコロナ禍をどの

ように捉えるかにおいて、町づくりの基盤を整えるときだと認識し捉えています。

これからの町づくりの基盤づくりとして、現在提案している全町美化を主軸とする「全町公園課」の設置による町並み・景観の整備、また、御宿駅裏遊休地の整備を足がかりとして施策を進めていきたいと考えています。これらの町づくりの基盤づくりが順調に進めば、おのずと経済振興を図れると確信しています。将来を見据えて町づくりの基盤となる整備を行っていきたく思います。

ウィズコロナ、アフターコロナを見通し、町総合計画アクションプランやまち・ひと・しごと創生総合戦略をベースに、財政事情を勘案しつつ事業を進めていきたいと考えています。
(答弁者：町長)

コロナ禍における独自の施策についてお答えします。町では落ち込んだ

観光需要の回復が課題と捉え、地域経済に波及効果が見込まれる宿泊・飲食施設と連携して行う町の特産品を活用した御宿ならではのおもてなしによる誘客促進、特産品の消費拡大を図るため、特産品等提供補助事業を計画しています。

また、町全体の活性化施策として、新型コロナウイルス感染症の拡大が町民生活及び事業者の経営に大きな影響を与えていることから、町民生活の応援と消費喚起を図るため、全町民へ商品券の発行を計画しています。長期化するコロナ禍において地域全体が元気になるよう関係団体と連携し、地域経済の活性化を図っていきます。
(答弁者：産業観光課長)

Q 小中学校の環境整備状況について、夏休み期間中に自動水栓を完全整備するなど環境を整える話を伺ったがその後どうなりましたか。

A 小中学校の新型コロナウイルス感染症対策では、昨年度から多くの費用をかけて、学校からの要望も聞きながら消耗品や医薬材料品の購入、サーモグラフィカメラや非接触型体温計、オゾン脱臭機などの備品の購入を進めてきました。また、学習支援ソフットの導入やWiFi環境の整備など、学校の休業による学習の遅れを補填するための環境を整えました。

現在行っている御宿小学校の給食配膳室の改修とトイレ改修については、改修規模が大きかつ

たため11月に工事が完了予定ですが、手洗いの自動水栓化は夏休み中に完了しました。

中学校についてはエアコンの改修、トイレ改修に附属する手洗いの自動水栓化は夏休み中に完了しました。

自宅での健康管理を行っていたり、学校では手洗いや手指消毒、教室の換気など基本の対策を行いながら、9月1日から平常どおり行っています。今後も学校と連携や相談をしながら、学校環境整備を進めていきたく思います。
(答弁者：教育課長)

夏休み期間中に自動水栓を完全整備するなど環境を整える話を伺ったがその後どうなりましたか。



▲トイレの手洗い場（御宿中学校）



田中とよ子議員

早急に事業の優先順位の公表を

町長— 優先順位に留意し、事業を進めていく

●事業の優先順位を

Q 町では限りなく財源があるわけではないため、事業に取り組む際の優先順位を早急に公表していただきたい。具体的な方針を示さずにいると時間が過ぎるだけで、施設の老朽化は急速に加速していく。御宿小学校校舎における施設の対策はどのように考えているのか。

A 御宿町公共施設等総合管理計画推進プランでは、御宿小学校の施設更新や建て替えを検討し、少し遅れぎみだが、方針は令和4年度には決定したいと考えています。

Q 築60年が最長といわれますので令和9年度が施設の限界です。令和7年度を目標に、決定された方針に基づき事業着手ができればと考えています。
(答弁者：町長)

Q 駅エレベーター設置事業は、町長の公約による長年の願いですが、事業主体であるJRをはじめ、国や県等との協議に向けた話し合いは進んでいるのか。

A 御宿駅エレベーター設置整備事業等促進協議会を設置したのち、コロナウイルス感染症の拡大が進行し、その後の国・県・JRへの折衝は進んでいません。強い気持ちで訴えるべきだという選択肢もありますが、コロナ禍の現状にあり相手方の気持ちを尊重している状況です。
(答弁者：町長)

Q 地方創生推進交付金の補助事業であるCCRC事業について、民間の財産を5年契約で借用している事業を今後どうするのか。再契約を検討するのであれば、どついつ形で事業を推進していくのかを伺います。

A お試し居住事業は、間もなくスタートしたいと思います。これまで多くの期間を費やしたため、移住定住の希望者が多く来るように努力していきたい。産業の関係である「レリッシュイナギ」は、特産品開発等に今後力を入れていきます。それぞれの施設は契約を更新していきたいと考えています。
(答弁者：町長)

Q ICT事業の進捗を伺います。

A ICTについては、先日の現地視察で様々な意見がありましたので、選択肢を広げて検討していきたい。内容は、企画や事業費の積算等を行っていただくため出来次第、議員の皆さんに紹介して検討していただきたいと思います。
(答弁者：町長)

Q 公共施設における多目的利用を

Q 中央海岸にある公衆トイレの解体を以前から要望してきたが、解体する予定はないか。

A 施設の多目的利用として、町営プール施設内のトイレを公衆トイレとして開放する場合には、防犯上や管理面などいくつか解決する課題が考えられます。その中で、プール休園期間中の施設の在り方を考える上でも重要な課題のため、これまで町のイベント等で活用した事例と併せて今後の取り組みの参考とさせていただきます。
(答弁者：産業観光課長)

Q 財政困難な時期だからこそ睡眠施設の活用を検討すべきと考えます。提案として町営プール施設内のトイレを

A 公衆トイレとして十分な管理をし、利用できる施設と考えているので現状維持をしていきます。
(答弁者：町長)



▲中央海岸にある公衆トイレ

岡本光代議員

相次ぐ水害被害
未然に防ぐ対策を早急に行うべき

産業観光課長 — 関係者と連絡を取り合い、早期に対応する



●水害対策の強化を

Q 8月初めに大雨の影響で田んぼや道路が冠水し、収穫間近の稲が水に漬かりゴミだらけになる被害が出ました。川の流れを阻害する竹や草、丸太、汚泥が除去されていれば防げることで。特に高山田から久保にかけての川を整備する必要がありますが、町はどのように考えていますか。

A 現在区からの要望等も踏まえ、優先度の高い箇所から伐採や河川のしゅんせつ等を行っています。また今年度は台風10号の被害対策として日照川や上落合川の流木撤去、清水川の土砂への対応等も実施予定ですので今後も優先度の高い箇所を改めて精査し実施するとともに、引き続き区や地域の方と連携を図りながら、より効果的な執行ができるよう努めます。
(答弁者：建設環境課長)



▲久保地区にある水門

Q 久保の水門は3個あるが真ん中が壊れていて開かない。鉄で重く人力で開ける方式で、1人で開けることが出来ません。3年前から町に要望していたが何もしてくれないと管理者から話を伺いました。川の水が流れず逆流し、田んぼが水没したのは明らかに入災だと思えます。町は今後どのような対策を取るのかを伺います。

A 現在、水利組合や町、久保区も含めて修繕方法や維持管理について協議を行っています。排水対策は重要な課題のため、今後も関係者

と連絡を取り合いながら早期に対応したいと考えています。
(答弁者：産業観光課長)

●埋め立てに
指導や助言を

●埋め立てに
指導や助言を

A 土砂の埋立て等に供する区域の面積の大きさによって県または町の条例に基づき申請が必要であり、知事または町長が埋立て許可を行っていただきます。
ご指摘のような事案があった場合は、埋め立てを行う土の分析結果や採集場所等についての申請を出し直すようお願いしています。
(答弁者：建設環境課長)

●コロナ禍への
支援策は

●コロナ禍への
支援策は

A 土砂の埋立て等に供する区域の面積の大きさによって県または町の条例に基づき申請が必要であり、知事または町長が埋立て許可を行っていただきます。
ご指摘のような事案があった場合は、埋め立てを行う土の分析結果や採集場所等についての申請を出し直すようお願いしています。
(答弁者：建設環境課長)

Q 町としても第一次産業が衰退するのではあつてはなりません。今後お金があつても食料が買えない時代が来ると思いますが、今後の町の考えを伺います。

Q 農業委員会では農地転用の申請があると、検討し許可を出して埋立てすることがあります。土砂を運び込む際に土砂の検査が必要ですが、検査証が明らかに2年前からの使い回しで、その場所に行ってみると土砂がありません。そのような場合は町からどのような指導や助言をするのかを伺います。

A 町では、農家の経営の安定を図るため、国や県の補助制度を

A これまで観光産業や農業、漁業と連携した複合的な政策を行ってきましたが、その面で農家の皆様への支援を考えられると思えます。産業は多種多様なためどこに線引きをするのが難しいため、観光や農業、漁業それぞれの状況を把握しながら、可能な限り複合的施策での支援を行っていくと考えています。
(答弁者：町長)

提出議案と審議結果

9月15日 日程第1号

議案番号	件名	議決結果
報告第1号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和2年度健全化判断比率について	報告
報告第2号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和2年度資金不足比率について	報告
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度御宿町一般会計補正予算第4号)	承認
議案第2号	天神橋(Ⅲ期)補修工事請負契約の締結について	可決
議案第3号	御宿町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号	御宿町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第5号	御宿町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第6号	御宿町国土強靱化地域計画の策定について	可決
議案第7号	令和3年度御宿町水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第8号	令和3年度御宿町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第9号	令和3年度御宿町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第10号	令和3年度御宿町一般会計補正予算(第5号)	可決

9月16日 日程第2号

議案番号	件名	議決結果
議案第11号	令和2年度御宿町水道事業会計決算の認定について	認定
議案第12号	令和2年度御宿町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第13号	令和2年度御宿町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第14号	令和2年度御宿町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第15号	令和2年度御宿町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
発議第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	可決
選任第1号	常任委員会委員の選任について	選任
選任第2号	議会運営委員会委員の選任について	選任
発議第2号	常任委員会における閉会中の継続審査(調査)について	可決
発議第3号	議会運営委員会における閉会中の継続審査(調査)について	可決

条例改正

●デジタル庁発足に伴う番号法の改正による町条例の改正 (議案第3号、第4号)

9月1日にデジタル庁が設立されたことに伴い、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(いわゆる番号法)が改正されました。従来マイナンバーの報告は個人が届け出を行うものでしたが、デジタル化の推進により本人同意が得られた場合は事業者間で行うことが可能となりました。

これにより町条例を改正するものです。

議案第3号では、番号法等の届出先が総務大臣から内閣総理大臣に変更され、特定個人情報を提供できる場合として、新たに規定が追加されました。

議案第4号では、特定個人情報を提供できる場合として、新たに規定が追加されました。

●御宿町国民健康保険条例の改正 (議案第5号)

出産育児一時金の金額変更による町条例を改正するものです。

国民健康保険の被保険者が出産した場合、1件あたり404,000円(産科医療補償制度に加入している医療機関は420,000円)が支給されます。

計画策定

●国土強靱化地域計画の策定 (議案第6号)

この計画は、国土強靱化基本法に基づき策定するもので近年多発している大規模自然災害の事前の備えとして、社会インフラの強靱化や平時の備えを中心とした包括的な対応策を定めたものです。

計画期間は令和3年度から令和7年度までの5年間です。

専決処分の承認

●令和3年度御宿町一般会計補正予算第4号(議案第1号)

新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き速やかにワクチン接種を進めるため、令和3年8月6日に専決処分されたものです。

歳入歳出それぞれ316万8千円を追加し、補正後の予算総額は37億3,588万4千円となりました。

契約

●天神橋(Ⅲ期)補修工事請負契約 (議案第2号)

天神橋の補修工事に関する契約です。

天神橋の補修工事は、令和元年度から3年間行われており、今年度が最終になります。

相手方 株式会社鈴木工業

契約金額 5,698万円

期間 令和3年9月16日～令和4年3月25日



▲天神橋

高山田から大原台に抜ける道に架かっている橋であり、現在補修工事を行っています。

補正予算

●令和3年度御宿町一般会計補正予算 第5号 (議案第10号)

歳入歳出それぞれ1億1,075万4千円を追加し、補正後の予算総額は38億4,663万8千円となりました。

内容は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した定住化促進事業の各支援金や、地域経済及び住民生活を支援する町民応援商品券発行事業及び特産品等提供事業への一部補助、また、台風10号による大雨の被害を受けた道路や河川の復旧工事のほか、令和2年度の国庫支出金及び県支出金の精算に伴う返還金の計上や、今年度の人事異動等による人件費の調整等の経費です。

選任

●議会構成の各委員を選任 (選任第1号、第2号)

常任委員会、議会運営委員会の委員がそれぞれ選任されました。

詳細☞ P8

●令和3年度御宿町水道事業会計補正予算 第1号 (議案第7号)

収益的支出を511万4千円減額し、資本的収入を219万5千円減額、資本的支出を149万5千円増額されました。

内容は、人事異動に伴う人件費の調整、今年度予定している送水管耐震化更新の補助金について財源更生を行うほか、劣化によるエンジン等に不具合が生じている公用車の購入費用を予算計上するものです。

●令和3年度御宿町国民健康保険特別会計 補正予算第1号 (議案第8号)

歳入歳出それぞれ338万9千円を追加し、補正後の予算総額は11億3,284万5千円となりました。

内容は、人事異動に伴う職員給与等の増額及び高額療養費支給システム改修費を増額するものです。

●令和3年度御宿町介護保険特別会計補正 予算第1号 (議案第9号)

歳入歳出それぞれ5,952万8千円を追加し、補正後の予算総額は11億4,853万4千円となりました。

内容は、令和2年度における介護給付費等の実績に伴い、国・県・支払基金への返還、一般会計への精算繰出について補正を行うほか、人件費の調整や介護給付費準備基金への積立を行うものです。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し

地方税財源の充実を求める意見書を提出 (発議第1号)

提出者 藤井 利一 賛成者 伊藤 博明、北村 昭彦、田中 とよ子

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしています。また国民生活への不安が続いている中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しています。

意見書は、このような状況において、地域の実情に応じた行政サービスを持続的に提供していくために、地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を強く国に求めるもので、全員の賛成により可決され、内閣総理大臣をはじめ財務大臣、総務大臣などに提出しました。

議会議員活動情報

(令和3年8月～11月)

町議会議員の出席した会議や行事などを紹介します。

8月

- 18日 町管理施設の現地視察
- 25日 例月出納検査
- 30日 夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会定例会

9月

- 1日 総務委員会協議会(第2回)
議員協議会(第10回)
産業建設委員会協議会(第3回)
- 8日 議会運営委員会
- 15日 第3回定例会(日程第1号)
議員協議会(第11回)
- 16日 第3回定例会(日程第2号)
- 22日 例月出納検査
- 28日 夷隅郡市広域市町村圏事務組合出納検査

10月

- 5日 議会だより編集委員会
岩和田団地跡地利用検討協議会
- 6日 布施学校組合議会定例会
- 8日 議員協議会(第12回、第13回)
各常任委員会
- 11日 総務委員会協議会(第3回)
- 14日 国保国吉病院組合議会定例会
- 21日 例月出納検査
千葉県後期高齢者医療広域連合議会
(議会運営委員会・全員協議会)
- 22日 議会だより編集委員会

11月

- 1日 布施学校組合議会議員協議会(第1回)
- 2日 夷隅環境衛生組合議会定例会
夷隅郡町村議会議長会常会
- 4日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 8日 議会だより編集委員会
- 10日 教育民生委員会学校訪問
議員協議会(第14回)

議会だより編集委員会

新メンバーで今後も議会だよりの編集に努めていきます！



岡本光代 委員

田中とよ子 委員

北村昭彦 委員長

議会事務局職員

藤井利一 委員

立野暁広 副委員長

土井茂夫 議長

昔の表紙から振り返る

「過去」と「今」

第3弾

今回ご紹介する右記の表紙は、昭和47年11月「No. 3」に発行された岩和田漁港の様子です。

現在（今号の表紙）は当時と比べて漁に出かける船の隻数が大幅に減少しているのが見受けられ、漁獲量の減少に影響が出ていることも考えられます。

当時の9月定例議会では、14議案が可決されたうち、町発展の基本的な考え方を示した「町基本構想の策定」について提案がありました。

構想の中では浅間神社にあった「あじさい公園」について、観光への利用の考えはあるかとの質疑があり、町民や観光客に花が咲いている公園として活用されるよう今後も整備していくとの応答がありました。そのほか当時は牛を使って農業を行っていますが、農業などの近代化により、機械力利用による省略化とされているがどうかとの熱心な質疑もありました。



▲議会だより No.3 の表紙

★町ホームページ (<http://www.town.onjuku.chiba.jp/>) では、議会情報や過去に発行された議会だより、会議録等がご覧いただけます。また、議会事務局でも閲覧ができますので、ご連絡ください。

御宿町議会事務局 Tel 0470-68-2515



編集後記

秋があつという間に過ぎ去り、冬を迎える時期となりました。

町では、台風接近によりいち早く避難所を開設しましたが大きな被害もなく、また、コロナウイルスも息をひそめています。いずれも、まだまだ安心できない状況ですが、自己防御に努めたいものです。

今回の「議会だより」は決算を中心に町の家計簿の内容をお伝えしています。

議会だより編集委員は、紙面が見やすいか、わかりやすい表現になっているかなど、皆様のご意見をお聞きしたいと願っています。

今年も残すところ1ヶ月ほどです。良い年を迎えられますようご祈念いたします。

議会だより編集委員会

田中 とよ子